

# 特別な支援を要する児童生徒へのSST (ソーシャルスキルトレーニング)



## 1 SST (ソーシャルスキルトレーニング) について

ソーシャルスキルとは、“social skills”の訳語で、「生活技能」「社会的技能」と訳されることもあります。ここでは、次のように定義します。

**社会生活や対人関係を営んでいくために、必要とされる技能**

ソーシャルスキルは、一般的には改めて学習することは少なく、親や年長者からのしつけ、先生から集団のルールとして伝えられたこと、経験の中で成功したことを自分の実績として身につけていくものです。

しかし、特別な支援を要する児童生徒の中には「対人関係がうまくいかない、集団行動がスムーズに行えない。」などの困難さがみられる場合があります。それには、次のような理由が考えられます。



そこで、意図的に設定した場での個別や小集団の活動を通して、社会的に適切な言動や行動がとれるように学習させることが必要になります。そして、社会生活や対人関係を営んでいくために、必要とされる技能を身につけられるようにします。

ソーシャルスキルトレーニングはその指導法のひとつであり、SSTと呼ばれています。

**Social Skills Training → SST**

## 2 SSTの指導技法

SSTの指導技法は、「教示」「モデリング」「リハーサル」「フィードバック」「般化」といったものがあります。これらの教え方を組み合わせて、指導を行うのが効果的です。次の図はSSTの指導技法の組み合わせを示したものです

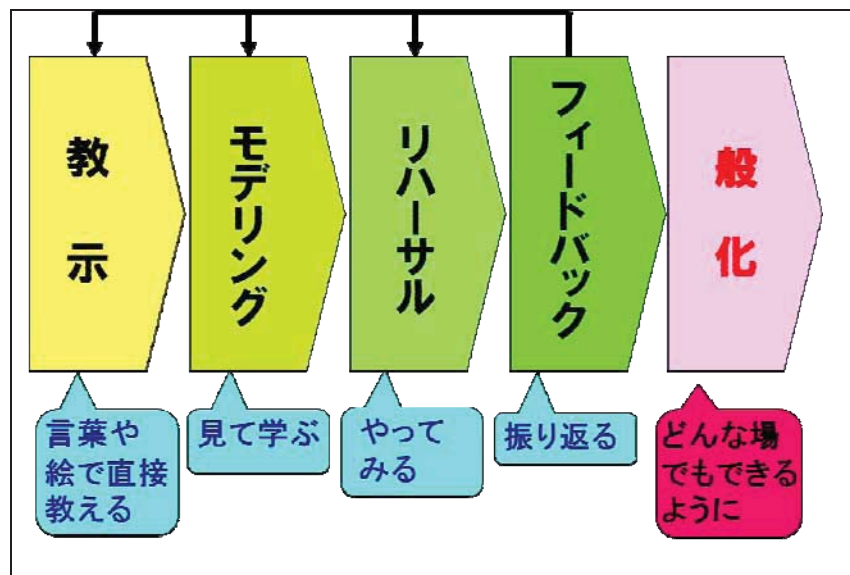


図 SSTの指導技法の組み合わせ

### 3 指導の際の配慮事項

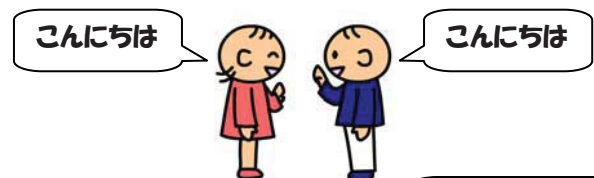
#### ① 見通しをもたせる

活動内容やルールについては、言葉や絵で示します。言葉だけでは伝わりにくいことや聞き逃しもあることから、活動の途中でも確認できるように、絵カードや手順表、ルール表などを掲示することが有効です。児童生徒が、どうすればよいかの見通しをもって行動することで、集団行動や対人関係が営みやすくなります



#### ② イメージをもたせる

活動のイメージをもたせるためには、適切な行動を見せる**モデリング**が有効です。言葉や絵で示した後に、行動を実際に見せることで具体的なイメージをもたせることができます。不適切なモデルも模倣されやすいので、特に幼児や低学年の児童には、適切な場面を見せるようにしましょう。

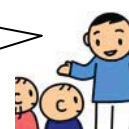


#### ③ 自尊心を高める

児童生徒の行動を称賛したり、修正を求めたりすることを**フィードバック**といいます。自尊心を高めるためには、児童生徒の適切な行動を**言語化**して伝え、称賛することが重要です。適切な行動が見られた場合、ただたんに称賛するのではなく、何について称賛したのかを示すことが大切です。成功体験を積み重ねることで、**自尊心**が高まっていきます。不適切な行動が見られた際にも、不用意な叱責や非難は避け、適切な行動を肯定的に伝えます。

・よくできたね ×  
・あいさつができてよかったよ ○

廊下は 走らない ×  
歩きます ○



### エクササイズを紹介(リンク)

[手軽にできるSSTエクササイズ集 \(PDF\)](#) (○短時間で ○準備がなく ○すぐにできる)

\* **通常の学級**での実施にもお薦めです。

#### 〈引用・参考文献〉

○上野一彦, 岡田智編著(2006)「特別支援教育[実践]ソーシャルスキルマニュアル」明治図書

○安住ゆう子, 三島節子著(2009)「教室・家庭でいますぐ使える SST」かもがわ出版